

令和5年度中長期経営プラン2016の進行管理結果について

山武水道では、中長期的な視点に立った計画として、平成28年3月に「山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016」を策定し、基本理念として掲げた「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」の実現を目指しているところです。

中長期経営プランについては、令和4年度に過去6年間（平成28年度～令和3年度）の事業の進捗状況の確認、課題の整理・分析を実施し、見直しを行いました。

今回は、この見直しに基づいて実施した令和5年度の事業について評価を行いましたので報告します。

1 中長期経営プラン2016について

中長期経営プランは、企業団の水道事業全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画として、第3章「現状と課題」を踏まえ、第4章「基本理念と目標」において、「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」を事業運営の基本理念として掲げ、この基本理念を実現するための事業展開の方向性を「水道水の安全の確保【安全】」「確実な給水の確保【強靱】」「供給体制の持続性の確保【持続】」という3つの計画目標として具体的に設定しています。

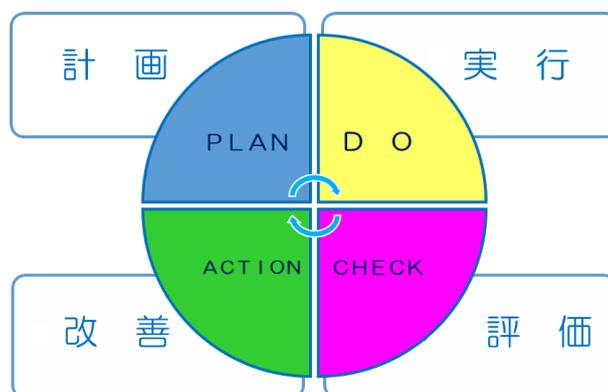
この3つの計画目標を達成するため、第5章「今後の10年間の取組姿勢」において、平成28年度から令和7年度までの10年間で重点的に取り組む施策・取組内容を体系的に整理しました。（別添「計画の体系及び評価結果」参照）

また、体系化とともに、「施策等の指標」「年次計画（活動目標）」により数値目標を設定し、目指すべき目標を明確にしています。

2 進行管理の方法

中長期経営プランは、PDCAマネジメントサイクルにより進行管理を行います。

評価により明らかになった成果と課題を中長期経営プランの着実な推進に活用します。

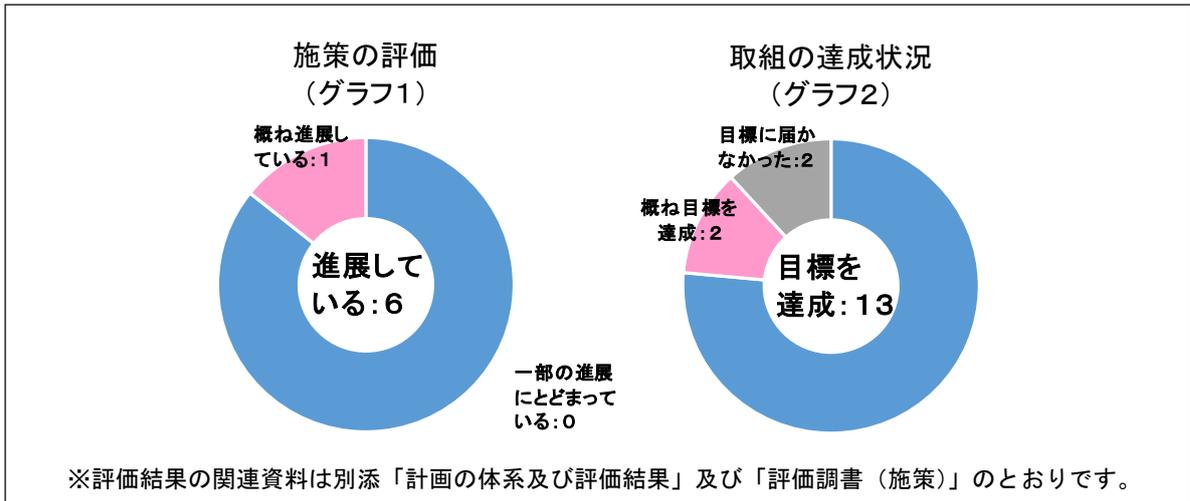


3 令和5年度に実施した施策の評価

中長期経営プランに掲げた3つの計画目標を達成するための各施策について、主な取組の実施状況により「進展している」「概ね進展している」「一部の進展にとどまっている」の3つの区分に整理し、その進捗状況を評価しました。

計画目標に掲げた7つの施策について、「進展している」又は「概ね進展している」と評価しました。(グラフ1)

施策を達成する具体的な手段である17の取組について、「目標を達成」、「概ね目標を達成」及び「目標に届かなかった」と評価しました。(グラフ2)

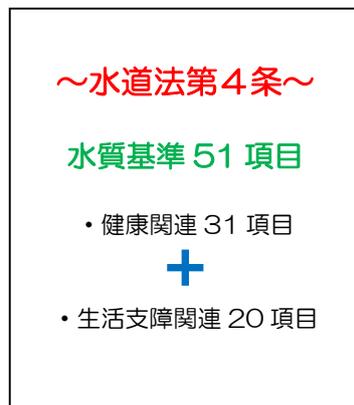


4 令和5年度の実施状況

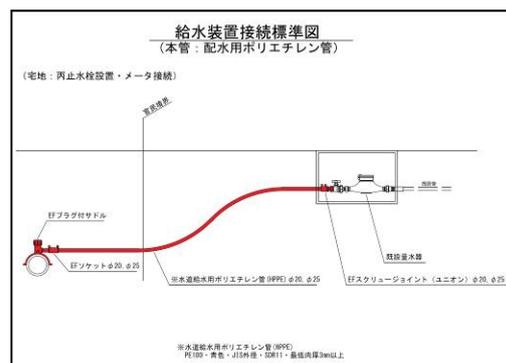
計画目標1 水道水の安全の確保【安全】

【水質管理の強化】

- ①水質検査計画に基づき、配水場からご家庭の蛇口に至るまでの水道水を定期的に検査したところ、水質基準を全て満たしておりました。
- ②水安全計画に基づき、危害発生の予防に努めるなど徹底した水質管理を実施することで安全な水道水を供給することができました。
- ③東金配水場に設置予定(令和6年度)の監視カメラについて、機種選定等の検討を行いました。
- ④令和7年4月1日以降に申込みされる給水装置工事については、配水管からの給水取り出しに使用する給水管は耐震管である「水道給水用ポリエチレン管(PE100EF 接合)」を採用することとしました。



①水質基準項目



④水道給水用ポリエチレン管(PE100EF 接合)

計画目標 2 確実な給水の確保【強靱】

【水道施設の計画的更新と維持管理】

- ⑤東金配水場については、令和4年度から6年度までの継続工事で場内連絡管及び電気設備の更新を行っています。
- ⑥重要給水施設配水管耐震化事業については、約2.7km 施工し、計画期間内で対象重要給水施設23箇所、約13.1kmの配水管を耐震化しました。
- ⑦老朽管更新事業については、約1.0km 施工し、計画期間内で約6.2kmの配水管を更新しました。
- ⑧職員による定期的な管路パトロール及び排水栓の点検を実施するとともに、高速道路跨架橋や水管橋等の特殊な配水管（97箇所）の点検を実施しました。



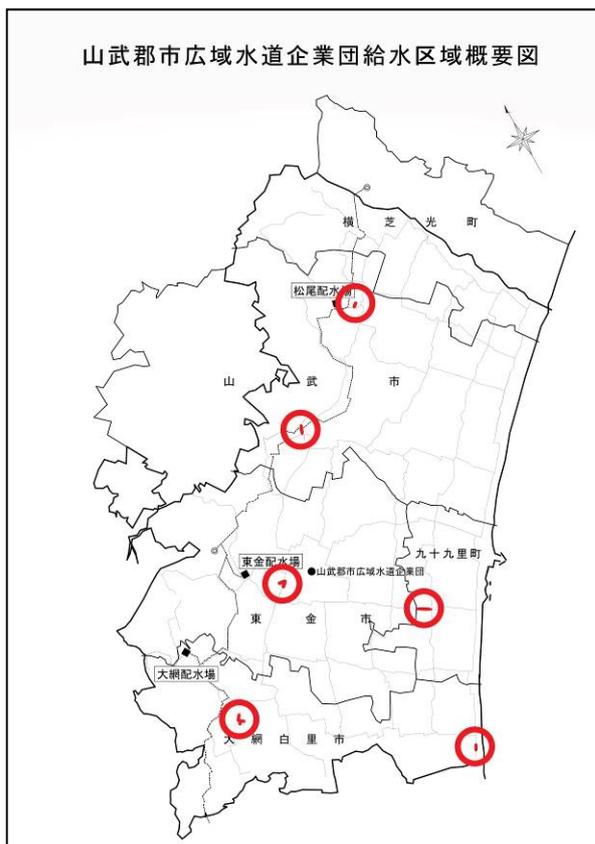
⑤東金配水場場内連絡管更新工事の様子



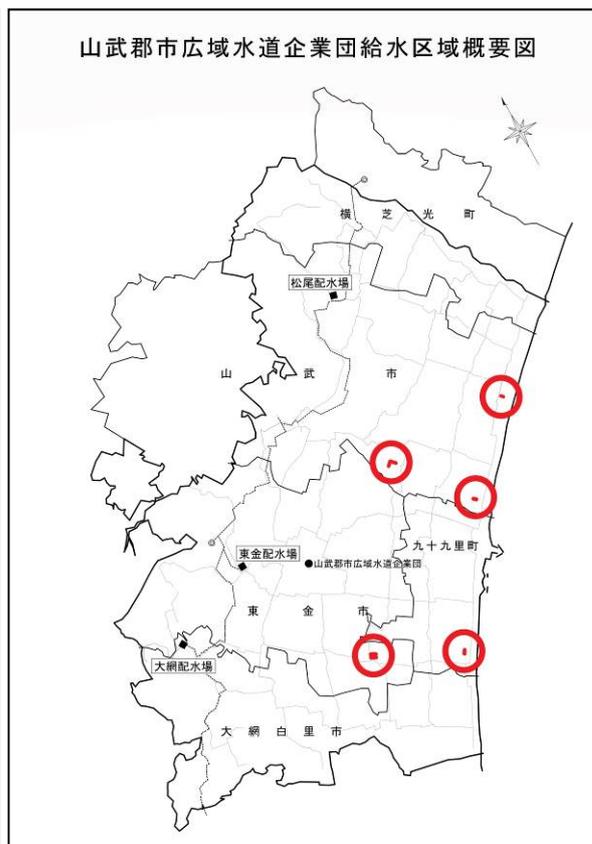
⑥重要給水施設配水管耐震化事業の様子（水管橋）



⑧点検した高速道路跨架橋



⑥重要給水施設配水管耐震化事業（約2.7km施工）
（交付対象事業：補助額 約1億2千万円）



⑦老朽管更新事業（約1.0km施工）

【総合的な危機管理】

- ⑨総合的な災害対策訓練として応急給水訓練や資器材搬出訓練等を実施しました。
- ⑩災害時の通信手段の確保を目的とした衛星無線及びIP無線を導入しました。
- ⑪配水場の非常用自家発電設備については、設備の点検を適切に実施するとともに、長時間の停電に備え、燃料を適量確保しました。（72時間稼働可能）
- ⑫災害時に対策本部となる事務局庁舎に非常用自家発電設備を設置しました。（72時間稼働可能）



⑨災害対策訓練（応急給水）



⑩衛星無線及びIP無線の導入



⑫事務局庁舎非常用自家発電設備

計画目標3 供給体制の持続性の確保【持続】

【お客様サービスの充実】

- ⑬水道料金を令和5年9月1日からスマートフォンでお支払いできるようになりました。
- ⑭水道事業全般に関する最新情報を提供するため、ホームページや年2回発行している広報紙を活用した情報発信を行いました。
（ホームページ更新件数110件、広報紙年間発行部数62,600部）
- ⑮参加型広報活動として、小学4年生を対象に水道について興味・関心をもってもらうことを目的とした「水道出前講座」を実施しました。（14校：705人）
また、マスコットキャラクター「さんすいちゃん」のクリアファイルを作成しPR活動を実施しました。（参加者へ配付）



⑬⑭広報山武水道 令和5年10月号



⑭企業団ホームページ



⑮水道出前講座の様子



⑮さんすいちゃんクリアファイル

【経営の健全化及び効率化】

- ⑩九十九里地域末端給水事業体会議は、統合・広域化の方向性や考え方を「基本計画(素案)」に取りまとめましたが、用水供給単価が示されていないため、令和6年度も完成に向け引き続き検討することとなりました。
- ⑪有識者や水道利用者からなる水道事業運営委員会において、企業団の運営方針を取りまとめた中長期経営プランの進捗状況を審議して頂き、事業運営に対する意見や助言を頂きました。



⑩市町村調整会議の様子
(県内水道の統合広域化の進め方に
係る九十九里地域水道事業体会議)

【活力ある人材・組織づくり】

- ⑫職員を各種研修に参加させ、水道事業に必要な専門的知識の習得や公務員としての資質の向上を図りました。



⑫内部研修の様子

【環境に配慮した事業運営の推進】

- ⑬東金配水場場内連絡管更新に伴う電気設備工事において、配水ポンプ用モータの高効率化を行いました。
- ⑭全ての発注工事において浅層埋設工法を適用しCO₂排出量を削減しました。
- ⑮事務局庁舎のデマンド監視装置による電力消費量の抑制、休憩時間の消灯、ノー残業デー及びクールビズの実施により節電に取り組みました。



⑬東金配水場配水ポンプ設備更新



⑭浅層埋設工法の適用

5 進行管理に関する評価

中長期経営プランの施策を推進するために企業団内に「中長期経営プラン推進委員会」を設置し、進行管理に関する内部評価を実施しています。

また、内部評価の客観性を確保するため「山武郡市広域水道企業団水道事業運営委員会(受益者及び知識経験を有する委員で構成)」で審議して頂き、その評価結果を取りまとめています。

山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016
令和5年度 計画の体系及び評価結果

計画目標 3	施策 7	取組内容 17	達成状況	施策の評価
1 水道水の安全の確保【安全】	(1) 水質管理の強化	① 水質管理の強化	a	B
		② 直結給水方式への推進	a	
		③ 給水装置に対する安全性の確保	c	
2 確実な給水の確保【強靱】	(2) 水道施設の計画的更新と維持管理	① 効率的な水運用のための水道施設の整備	a	A
		② 配水施設の計画的更新	a	
		③ 管路施設の計画的更新	a	
		④ 管路の維持管理及び漏水防止対策	c	
	(3) 総合的な危機管理	① 災害対策計画と活動マニュアルの運用管理	a	A
		② 漏水事故及び災害時における復旧体制の強化及び関係者間の連携	a	
3 供給体制の持続性の確保【持続】	(4) お客様サービスの充実	① お客様サービスの向上	a	A
	(5) 経営の健全化及び効率化	① 将来需要の動向に即した水道料金制度の検討	a	A
		② 経営基盤の強化	a	
		③ 組織体制の強化	b	
		④ 統合・広域化の検討	b	
		⑤ 運営委員会の有効活用	a	
	(6) 活力ある人材・組織づくり	① 人材育成と技術の継承	a	A
(7) 環境に配慮した事業運営の推進	① 省エネルギーと環境保全対策	a	A	

達成状況
a 目標を達成
b 概ね目標を達成
c 目標に届かなかった

施策の評価
A 進展している
B 概ね進展している
C 一部の進展にとどまっている